

山形山 月島店



仏教用語や禅語の「無我(むが)」「喫茶去(きっさこ)」「真人(しんじん)」の言葉を60×120cmの大きさに掲げ、店内装飾に。

店の看板は黒地に金色の高級感のあるデザインに。一方、オーニングは強く印象に残る赤色を採用し、通行人の目を引きつける。行燈風の照明も設き、アイキャッチ効果を高める。



SHOP DATA

住所	東京都中央区月島1-5-2 キャピタルゲートプレイス ザ・タワー107
開業日	2013年9月1日
規模	25坪・36席
営業時間	月曜～金曜11時30分～23時45分 (LOランチ14時、ディナー22時45分) 土日祝日11時～23時45分 (LOランチ14時、ディナー22時45分)
定休日	無休
客単価	ランチ平日1200円・土日祝日1400円、 ディナー4800円(4000～8000円)
従業員数	社員3人、アルバイト8人
目標月商	750～800万円(コロナ禍前900万円)
経営	㈱バイタリティ
設計	㈱ビス・アティック
施工	タジマ創研㈱
ロースター	東、産業㈱

山形色を打ち出す業態の特徴を店舗にも 込め、どこか懐かしい古民家風の趣きにも

多業態を19店舗擁し(内1店はFC店)、さらにはプロデュースや共同経営など海外でも3店舗手がけるのが㈱バイタリティ。中でも焼肉業態は、直営で『日本焼肉党』『新日本焼肉党』『山形山』を展開。もともと同社の焼肉店は山形牛を用いていたが、その他の食材も山形のものも多く取り入れ、さらには山形の郷土料理も提供して山形色を強めたのが『山形山』である。

個室需要を取り込むための座敷席も完備。各フロアの頭上にはデザインとしての梁を巡らし、古民家を思わせるどこか懐かしい趣きの店舗に仕立てる。他にも欄間を取り入れる、客席の天板を木目のものにするなど、全体に落ち着いた印象でまとめている。

テーブル席は80×120cmのゆったりとした広さで、壁側はベンチシートを採用。片側に使用する椅子はカウンター席でも用いる。テーブル間の間仕切りはコロナ禍を機に設置したもので、飛沫防止だけでなく、隣りの席も気にならなくなり、従来以上に居心地のよさを高める効果をもたらしている。



カウンター席は奥行き70cmと、テーブル席並のゆったりした広さにして居心地のよさを。下がり壁には欄間を取りつけて雰囲気をもたらし、



上ノ店内奥に設けた座敷席は、6人がけ掘ごたつ席を2卓配置。仕切りを外せば多人数で利用可能。右ノトイレの扉には浮世絵風のデザインを描き、洒落た男女別の表示にして3%。



メインフロアは8席のカウンター席と、4卓の4人がけテーブル席で構成。テーブル席は間仕切りで分け、落ち着いた空間を確保する。